員等)

「星峯西小学校の茂頭棒踊り伝承活動の取組」

| 1. 学校名 | 鹿児島市立星峯西小学校 |
|--------------|--|
| 2. 学年・人数 | 5年生102人,6年生106人 |
| 3. 日時・場所 | (1) 練習の日時・場所 |
| | 令和6年9月27日~令和6年10月23日 体育館及び校庭 |
| | (2) 発表の日時・場所 |
| | 令和 6 年 10 月 26 日 星峯西小学校運動会 校庭 |
| 4. 伝承・活用に取 | (1) 名称 「茂頭棒踊り(もつぼうおどり)」 |
| り組んでいる郷土芸 | (2) 由来 |
| 能,伝統行事,伝統 | 江戸時代の町人や百姓は武士に従う時代で、この考えは明 |
| 工芸品について | 治時代まで残っていたとされる。五ヶ別府の農民たちも、士 |
| | 族に馬鹿にされたり脅されたりしていた。その状況をたまり |
| | かね「我々も自分の身は自分で守ろう」と天秤棒を武器に棒 |
| | 術を習い,護身術を覚えたことが始まりと言われている。 |
| | (3) 構成等 |
| | 六尺棒・三尺棒を持ち、法被を着て鉢巻きを締めた勇まし |
| | い姿で踊る。踊りとは言っても、棒術や杖術の動きが組み合 |
| | わされており、瀬戸抜きや胸突き、切り込みや切り返しなど |
| | の動きが伝承されている。 |
| 5. 文化財伝承・活 | 5年生の総合的な学習の時間に単元「棒踊り探検隊」を位置付 |
| 用の取組において地 | け,棒踊りの由来や動きの意味を調べたり,体験することを通し |
| 域との連携や工夫し | て魅力を発見したりできるような学びを展開している。その際, |
| た点等 | 学校と地域が連携協力しながら棒踊りを継承していくために, |
| | 「棒踊り保存会」の方々の講話を聞いて学んだり、動きを指導し |
| | ていただいたりする時間を位置付けた。また、6年生が5年生へ 動きを教える時間も記字することで、3世ももがさけぬにに発送 |
| | 動きを教える時間も設定することで、子供たちが主体的に伝承活 |
| | 動に取り組むことができるような体制も整えている。 伝承した成果は、運動会において5・6年生合同で披露した |
| | 伝承した成業は、運動去にあいても・6年生日向で扱路した り、5年生が来年度一緒に学ぶ4年生に向けて、自分たちが学ん |
| | り, 5年生が未年度一幅に子ぶ4年生に向けて, 百万たらが子ん だことを発表して伝える異学年の合同学習を行ったりするなど. |
| | たことを光衣して伝える葉子中の古向子目を打ったりするなど。 継続した学びが展開できるように教育課程を工夫している。 |
| 6. 取組の様子 | 心がした手びが展開できるように教育課性を工人している。 |
| (練習状況、発表の | |
| 場等) | |
| -9J vJ / | |
| | |
| | |
| | |
| | 運動会で披露総合的な学習の時間で発表 |
| 7. 感想・意見 | 【児童】 |
| | これまでは、運動会で見るだけだったけれど、実際に学んだ |
| (参加児童生徒・保 | り体験したりすると、動きや歌に込められた思いなどにも気付 |
| 護者・保存会・教 | くことができました。自分が住んでいる地域に伝わる郷土芸能 |
| | わのえ これふこも上切ににははていまもいて十 |

なので、これからも大切に伝え続けていきたいです。